

佐々波コンクリート工業(株) 環境行動計画

令和2年 12月 12日

取組方針

佐々波コンクリート工業株式会社は、『一石川の大地によりよい環境を』をモットーに、地域住民に喜ばれるようなコンクリート二次製品を目指し、製造・販売をしています。コンクリートという言葉が一時期 諸悪の象徴であるような扱いをされていたことがありました。コンクリートのライフサイクルは30年以上と長く、またコンクリートの原材料であるセメントと砂、砂利、水は100パーセント国内で供給できる貴重な建設資材です。そのため日本においては極めて重要な資源であり、コンクリートを有効活用していくことでよりよい環境を目標にしております。

また、当社の事業活動を進めていく中で、従来どおり環境保全型製品や再生資源の製品化を進めるとともに、従業員ひとりひとりが循環型社会の形成へ役立つよう意識をもつように努めてまいります。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源
- ② 従業員ひとりひとりの日々の生活における環境への貢献
- ③ 持続可能な社会をめざしてSDGsの推進をめざした活動

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

令和2年 12月 12日

佐々波コンクリート工業株式会社

代表取締役社長 佐々波 隆一

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一	<p>二酸化炭素の排出量（従業員当たり）を、R1年を基準としてR3年までに2%（1%/年）の削減を目標とする。</p> <p>9899 kg-CO₂/人⇒9701 kg-CO₂/人</p>
具体的な取組	<ol style="list-style-type: none"> ① 冷房温度（28度）と暖房温度（20度）を厳守する ② パソコン、コピー機の節電機能を有効活用する ③ エコドライブ、アイドリングストップを徹底する ④ 養生槽の改良とボイラーの効率化の検討 ⑤ 従来型蛍光灯を高効率蛍光灯やLED照明に交換する ⑥ クールビズ（ノーネクタイ等の軽装）に取り組む ⑦ ハイブリッド車や低燃費車、低公害車の導入を進める ⑧ クールビズ（ノーネクタイ等の軽装）に取り組む ⑨ ウォームビズ（重ね着や膝掛けの使用等）に取り組む ⑩ エアコンの室外機をこまめに清掃し、また、室外機の周囲に物を置かない

目標二	<p>コピー用紙の使用量（従業員当たり）を、R1年を基準としてR3年年までに2%（1%/年）の削減を目標とする。</p> <p>6.077kg/人⇒5.956kg/人</p>
具体的な取組	<ol style="list-style-type: none"> ① 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める ③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する ④ サブディスプレイを導入しペーパーレス化を図る。

目標三	<p>水の総使用量（従業員当たり）を、R1年を基準としてR3年年までに2%（1%/年）の削減を目標とする。</p> <p>114.0m³/人⇒111.7m³/百万円</p>
具体的な取組	<ol style="list-style-type: none"> ①プラント洗浄における水に回収水を使用する。 ②事務所での洗い物に時に、こまめに蛇口をしめる。

目標-4	従業員の事業活動以外での環境への取り組みを支援する
具体的な取組	<p>①SDGs 活動の説明をし、ひとりひとりの環境保全活動へのとりくみの大切さを認知してもらう</p> <p>②ひとりひとりの活動の具体例を朝礼時に発表してもらう。</p> <p>③事業活動以外でできる、いしかわ事業者版環境 ISO の取り組みを掲示する。</p>

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、年に一度を目途に品質管理部長を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が事業活動を含めた日頃から環境配慮を心がけるよう計画の掲示、講習会や勉強会を行い目標実現に努めてまいります。